

登山関連ニュース 2026年3月27日

過去24時間以内に発表された登山関連ニュースの中から、登山活動に影響を及ぼす可能性のある情報を厳選し、重要度順にまとめました。登山を計画されている方は、以下の情報に十分ご注意ください。

登山関連情報サマリー

重要度	項目	内容・影響
高	火山活動	桜島：噴火警戒レベル3（入山規制）が継続中。火口周辺への立ち入りは厳しく制限されています。
高	火山活動	阿蘇山：噴火警戒レベル2に引き上げ。火山性微動の振幅が増大しており、大きな噴石や火砕流への警戒が必要です。火口周辺への立ち入りは規制されています。
高	火山活動	薩摩硫黄島：噴火警戒レベル2（火口周辺規制）の運用が3月31日から開始されます。火口周辺への立ち入りは規制されます。
高	火山活動	西之島、硫黄島：噴火警報（火口周辺）が継続中で、入山危険または火口周辺危険です。
高	火山活動	雌阿寒岳、岩手山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島：噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続中。火口周辺への立ち入りは規制されています。
中	登山道規制	羅白岳：昨年ヒグマ襲撃事故が発生した登山道は、例年通り7月上旬に再開予定。ただし、ヒグマ出没への注意喚起が強化されます。
中	登山道規制	高祖山（福岡）：叶岳方面への登山道が3月27日まで通行止め。

重要度	項目	内容・影響
中	登山道規制	山形県内の国道・県道：一部で通行規制情報あり。登山計画の際は、事前に最新の交通情報を確認してください。
中	クマ出没	札幌市中央区宮の森：3月26日午後6時過ぎ、住宅街そばの道路で体長約1.5mのクマが目撃されました。登山道付近での目撃ではありませんが、市街地に近い山域での活動には注意が必要です。
低	遭難事故	伊豆・万二郎岳：3月24日に男女4人が遭難しましたが、全員無事救助されました。[6] 過去24時間以内のニュースですが、解決済みです。
低	遭難事故	長野県内：先週、バックカントリー中の遭難2件、アイスクライミング中の遭難1件が発生。冬山登山におけるリスクの高さを示しています。

登山者へのアドバイス

- 火山情報**：活火山周辺での登山を計画する際は、必ず気象庁の最新の噴火警戒レベルを確認し、規制区域には絶対に立ち入らないでください。特にレベル2以上の火山では、火口周辺への立ち入りが規制されています。
- 登山道規制**：登山道や林道の通行止め情報は、自治体や施設のウェブサイトですら事前に確認しましょう。特に冬季閉鎖解除直後や、工事による規制がある場合があります。
- クマ対策**：クマの活動が活発になる時期です。クマ鈴の携行、複数人での行動、食料の管理徹底など、基本的な対策を怠らないでください。目撃情報があった地域では、特に警戒が必要です。
- 遭難対策**：冬山シーズンは終わりに近づいていますが、依然として気温や天候の急変、残雪によるルートミス、滑落のリスクがあります。十分な装備と経験、そして余裕を持った計画を立て、単独行動は避けましょう。万が一に備え、登山計画書の提出と携帯電話の携行を徹底してください。